

子供の勉強には親のサポートが必要!?

自主的に勉強すること（家庭学習）ができる子供に育ててほしいと思われている親御さんは、多いのではないのでしょうか。

教育系 YouTuber の葉一さんは著書「小学生の子がどんどん勉強するようになる親のすごい声かけ」で次のように述べています。

「どうしてうちの子ってこんなにやる気が出ないんでしょう…」親御さんのお悩みトップ3のうちのひとつです。「なかなかやる気が出ない」「勉強に取りかかるまでに時間がかかる」、そんなタイプのお子さんは、**頭の中で、「勉強=大変」という考えが凝り固まってしまっているケースが多いです。**

でも、大人の私たちだって、そうですね？ やっかいな仕事が降ってきて「終わるのにいったい何時間かかるのだろう…」というときには、ため息をつきたくありませんか。なかなか腰が重くなって取りかかれませんか。でも、ゴールの見える、10分くらいでサクッとこなせる仕事量なら、「ちゃっちゃと終わらせようか！」と軽い気持ちで取り組めるでしょう。

子供だって同じです。やる気が出ないときには、「これならすぐ終わるからさっさと終わらせてしまおう！」と思える量まで減らすこと。お子さんに「どれくらいの量ならすぐに始められる？」と率直に聞いて、その子が無理なく取り組める量まで減らしてみてください。そうすることで、子供の心理的なハードルはぐっと下がります。いやいや勉強しだすのではなく、

ごく自然に取りかけられるように変わってくるはずです。

「では、うちの子にはどれくらいの量がベストなの？」と迷われる方も多いかと思います。子供にとってベストの勉強量は子供に決めさせるのが一番です。例えば、「毎日、漢字何個だったら覚えられそう？」「計算の問題、いくつならやりきれる？」

子供に勉強量を決めさせるとなると、親が想定した量よりも少なくて不安になる方もいるかもしれません。でも大丈夫。勉強量は子供が納得した分が、その子にとっての「適量」です。小学生の家庭学習というのは、学習の習慣づけや「勉強の練習」をする時間という意味合いが強いと思います。勉強の練習とは、自分に合った勉強のやり方を見つけ出し、自分で考えて勉強するための「練習」です。ですから、勉強量を決めるのも「練習」のうちです。親の役目は、子供が自分流の勉強スタイルを見つけるサポートをすることです。あくまでサポート役なので、親が決めた勉強時間を押しつけないでほしいのです。



参考資料：葉一著「小学生の子がどんどん勉強するようになる親のすごい声かけ」：SBクリエイティブ株式会社出版